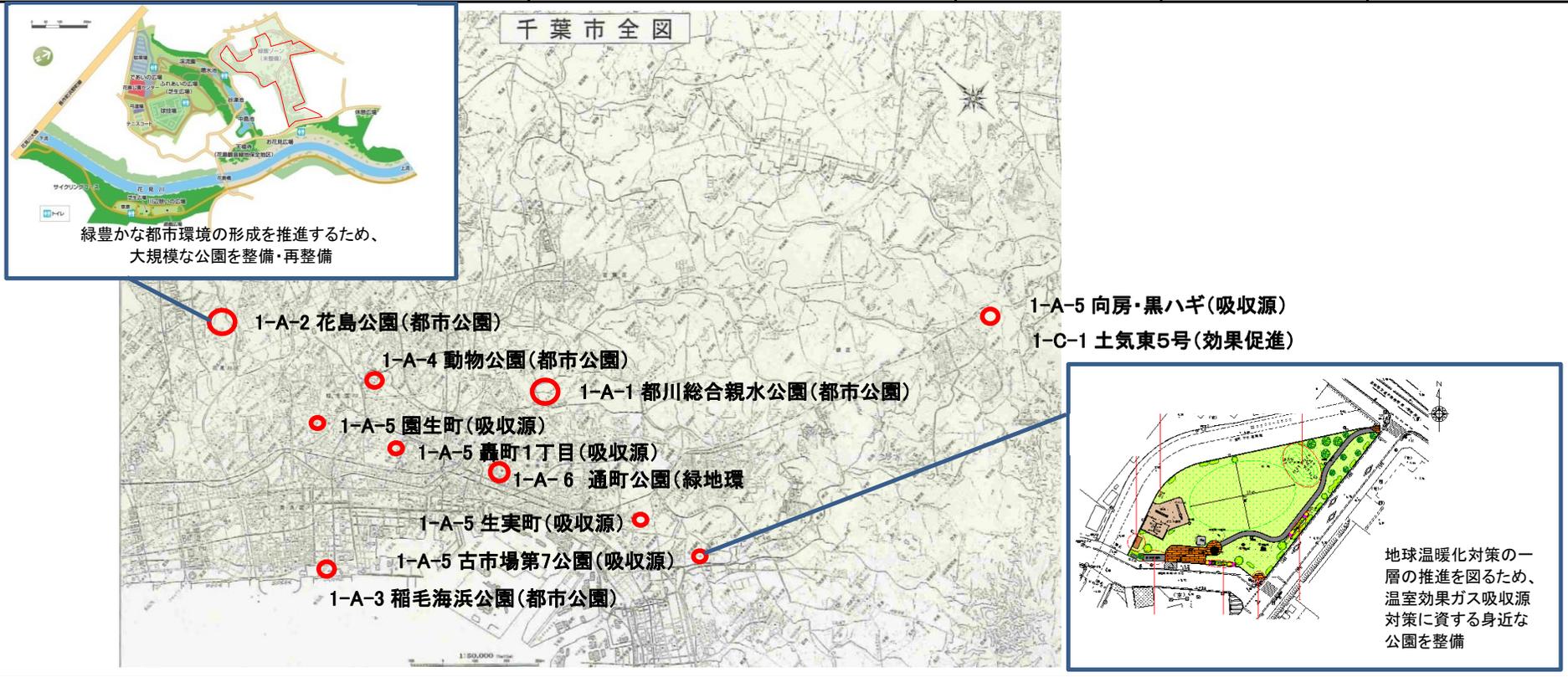


千葉市都市公園等整備事業【事後評価】

令和2年11月

計画期間	平成27年～令和元年	交付対象事業費	434,365千円	うち国費	217,182千円
計画の目標		定量的指標	目標値	評価値	達成度
<p>本市では、「千葉市緑と水辺の基本計画」(計画期間 平成24年度～平成33年度)にもとづき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や公園・水辺空間の整備を進めます。</p> <p>都市公園等事業では、緑豊かな都市環境の形成を推進するため、大規模な公園の整備・再整備を進めます。</p> <p>緑地環境事業では、地球温暖化対策一層の推進を図るため、温室効果ガス吸収源対策に資する身近な公園の整備を進めるとともに、「千葉駅周辺の活性化グランドデザイン(平成28年度策定)」にもとづき、千葉駅から市街地への来街者の誘引と回遊の促進を主目的として、魅力ある空間づくりに向けた公園整備を進めます。</p>		公園緑地面積	928ha	983ha	○
		大規模な公園の利用者数	343万人	315万人	△



今後の方針

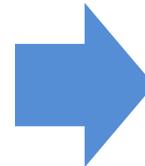
次期社会資本整備計画(計画期間H27～H31)においても、引き続き「千葉市緑と水辺のまちづくりプラン」(計画期間 平成24年度～平成33年度)に基づき、豊かな緑と水辺を次代へと引き継ぐため、緑地の保全や、公園・水辺空間の整備を進めてまいります。具体的には、従前からの特別緑地保全地区の土地の買入れや、小規模な公園緑地の整備だけでなく、大規模な公園の再整備にも取り組んでまいります。

事業効果の発現状況(一部事例)



《都市公園事業》 (例)花島公園整備

花島公園は、花見川区におけるレクリエーションの中心となる緑と水辺の拠点機能を有した公園として整備している。計画期間中は、未整備区域(緑園ゾーン)の実施設設計及び施設整備を実施した。



《吸収源対策公園緑地事業》 (例)古市場第7公園整備

平成30年度に設計、令和元年度に施設整備を実施した。



《緑地環境事業》 通町公園整備

令和元年度に施設整備を実施した。

要素事業の進捗状況

事業名・箇所名	進捗状況	備考(計画が達成できなかった場合の理由)
都市公園事業(都川総合親水公園)	△	用地取得 (0.5ha) 計画が達成できなかった理由:地権者交渉に時間を要したため。
都市公園事業(花島公園)	○	用地取得 (0.5ha)、施設整備
都市公園事業(稲毛海浜公園)	△	施設整備 計画が達成できなかった理由:民間事業者の事業計画変更に伴い、行政投資分の計画を見直す必要が生じたため
都市公園事業(千葉市動物公園)	△	施設整備 計画が達成できなかった理由:入札不調や展示動物の購入調整により遅れが生じたため
緑地環境事業(千葉市全域(園生町公園外))	△	施設整備4か箇所(園生町公園、生実町公園、轟町1丁目公園、古市場第7公園) 計画が達成できなかった理由:地元住民や関係機関との調整に時間を要したため。
緑地環境事業(千葉都心(通町公園外))	○	施設整備

達成状況

- 計画していた事業量(又は供用)が達成できた
- △ 事業は進捗しているが、計画事業量には達しなかった
- × 事業着手ができなかった